

課題・検討の背景

短期的な課題への対応

中・長期的な課題への対応

箕面市の公共交通網に関わるモビリティサービス

福祉サービスでの送迎

既存のモビリティサービス



主体・運営：阪急バス(株)
【モビリティ特性】
 ・交通結節点を起点とした直線的路線網
 ・通勤・通学等の鉄軌道への接続
 ・中型輸送
【課題】
 ・深刻な運転手不足から、赤字路線を中心に合理化・縮小が進む

阪急バス(路線バス)

再編検討段階における路線廃止・縮小提案、再編後の実際の運行ルートへの不満の声が市議会にも多く寄せられました



主体：箕面市 運営：阪急バス(株)
【モビリティ特性】
 ・路線バスの補完としてエリア循環
 ・小・中型輸送
【課題】
 ・路線バス同様、深刻な運転手不足
 ・循環型運行のため利便性向上や収益性確保が困難

オレンジゆずるバス（循環型バス）

路線バス再編後も、引き続きルート・便数増等の利便性向上を求める声が寄せられる状況にあります

新たなモビリティサービス



のーと（AIオンデマンド）

主体：箕面市
 運営：ネクスト・モビリティ(株)、阪急タクシー(株)、(株)未来都
【モビリティ特性】
 ・設定エリア内の移動
 ・設定エリアから各交通機関への接続
 ・小型輸送
【課題】
 ・コストと収益性確保
 ・利用者負担のあり方
 ・既存モビリティとの役割分担

路線バスの再編や地域特性を踏まえ、平和台周辺および粟生間谷周辺の2エリアで実証実験をスタートした段階にあります



シェアサイクル

主体：箕面市 運営：OpenStreet(株)
【モビリティ特性】
 ・鉄軌道・生活利便施設への接続
 ・個人移動
【課題】
 ・エリアカバー率の向上

公共交通網を補完する一つの手段となりえるのか、市内の中心部に位置する箕面萱野駅を起点にした、実証実験の取り組みをさらに進めていくことが求められる現状にあります

移動に関わる福祉サービス



オレンジゆずるタクシー（福祉有償運送）

主体：箕面市 運営：シルバー人材センター
 対象：要支援・要介護、障害手帳取得者
 その他移動が困難な方
 利用：事前予約制・利用者負担有り
【課題】
 ・ニーズが平日朝に集中し、供給体制とのミスマッチが生じる

現在のサービス供給体制では、全てのニーズに対応することが困難であるとともに、収益確保等の事業継続性が課題となっています

【提言】に
よる要望内容

今以上のバス路線の縮小を許さない、最適化や利便性・快適性の向上を目指した取り組みを求めています！

【ルート・便数に対する要望】

- ・利用実態等の把握・検証を定期的に行うこと
- ・政策的な視点による路線バスの維持・最適化を推進すること
- ・オレンジゆずるバスの収支目標及び評価のあり方を検証すること
- ・市民・事業者と連携した利用促進を進めること

【快適性向上への要望】

- ・ルート・時刻案内等のサインを改善・充実すること
- ・利便性向上に資するバス停位置の検証を行うこと

【公共交通網の脆弱エリアへの要望】

- ・鉄道への乗り継ぎを含む料金格差を是正すること
- ・オレンジゆずるバスの有無による格差を是正すること

課題



・社会実験の利用が少ない路線への対応

・西エリアから千里中央への移動

・オレンジゆずるバスの格差是正



・一部市負担により路線を確保

・路線最適化によって直通便を増便

・森町・止々呂美エリアの負担軽減

【提言】に
よる要望内容

これからの公共交通網の充実に不可欠な新たなモビリティサービスの充実に求めています！

【オンデマンド交通】

【のーと】の実証実験をさらに推進すること

- ・本格運行をめざし、エリアやミーティングポイント拡充、利用率や収支率の向上などをめざした検証を行うこと

その他のオンデマンド交通の検討を行うこと

- ・他市事例であるAIを使用しない乗り合い型も検討すること

【シェアサイクル】

エリアカバー率及び夜間利用の促進を行うこと

- ・特に鉄道駅からの夜間利用を想定した拠点の拡充及び利用実態の把握・検証を行うこと

課題



・AIオンデマンドの実証継続

・他のオンデマンド交通の検討



・実証実験の継続

・他の乗り合い型手法の研究

中期的視点で求めるモビリティマネジメントの展開

【中期的な視点】では…
 今後の公共交通網の充実に向けたモビリティサービスの展開についてその方向性を議会に示すことを求めています。

【オレンジゆずるバス】

- ・オンデマンド交通との政策的な役割分担や負担経費のあり方を検証すること
- ・オンデマンド交通への完全移行も含むあらゆる選択肢を検証すること

今後の対応

新市立病院の移転建替に伴う路線調整など、時勢に応じた適切・迅速な対応を行うこと

【オンデマンド交通】

- ・利用者負担のあり方について、検証を行うこと
- ・他の乗り合い型との比較検証を行うこと

【シェアサイクル】

- ・公共交通網における役割や範囲を明確にすること
- ・拠点を絞った広域利用等も視野に入れた検証を行うこと

長期的視点で求めるまちづくりの展望

【長期的な視点】では…
 市外への移動ニーズに対して、生活利便施設が市内で完結できる新たな集積地として、新駅周辺のまちづくりを推進することを求めています。

【箕面萱野駅周辺エリアのまちづくり】

交通結節点となるエリア特性を生かし、行政窓口機能、銀行、郵便局、定期券購入窓口などのさらなる利便施設の集積が必須であるとともに、全方位からのアクセス性からは新たな子育て支援拠点としての充実など、今後のまちづくりの方向性を議会に示すこと

【箕面船場阪大前駅周辺エリアのまちづくり】

現在の企業集積地としてだけでなく、文化芸術劇場と連動した文化・芸術や生涯学習、大阪大学と連動した国際交流・インキュベート、市立病院と連動した医療機能集積など、そのポテンシャルを生かした今後のまちづくりの方向性を議会に示すこと

公共交通特別委員会【提言】を原田市長へ提出しました！



箕面市議会では、バス路線網の再編に対して市民の皆さんからの切実な声や厳しい評価が相次いだことを受けて、議会としてもその声に応え、説明責任を果たすべく、令和6年12月に公共交通特別委員会を設置しました。

特別委員会は、令和8年1月までの1年以上をかけて、バス路線網の充実・最適化の実現をめざした公共交通のあり方について、独自に調査研究を行い、本市の公共交通のあり方について短期、中期、長期それぞれの視点から整理した課題に対して、【提言】を取りまとめ、令和8年2月4日に原田市長へ提出し、市としての今後の対応を求めました。



多様なモビリティサービスの重層的な展開による公共交通網の充実

戦略的なエリアマネジメントによる市内交通環境の充実